



町民が喜び、町外から来る

長島町長 川添 健

町民の皆さまにおかれましては、心新たに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が本町におきましても感染が広がり、加えて物価高騰の波も押し寄せ、生活に多大な影響をもたらしております。

町民の皆さまも大変なご苦労をされていることと存じますが、終わりの見えない状況に光明が差す日を待ちわび、お一人おひとりのご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年は4月の町長選挙において、無投票の選出をいただき、責任の重さと公約いたしました政策の期待に応えるべく、スタートダッシュした

1年でありました。私は終始一貫、

政治は町民ファーストであるべきと思っております。「町民が喜び町外から来る」と言うように、町民が生活の中で満足感や充実感を得て、誇りの持てる町づくりを具体的に進めてまいります。

第一に、町民が安心して生活のできる危機対応であります。コロナ対策はもちろん、台風、大雨、赤潮など不安を解消する対応を図っていかなければなりません。

第二は、獅子島振興です。昨年、離島振興法が改正され、獅子島などの一部離島を架橋で結ぶ法案が成立しました。獅子島架橋実現には幾多

の困難がありますが、一致団結すれば

必ず乗り越えられるはずです。まずは、獅子島内の町道を改良する必要がある、国や県と協議してまいります。また、獅子島には民間の子育て支援の施設がないので、町が責任をもって整備する必要があります。同時に、

農業や漁業の振興に取り組み、全国離島のモデルをつくってまいります。第三は合併以来の懸案である学校再編の中で、中学校の統合問題が提起されており、将来を担う子どもたちを第一に考え、財政との調和を図りながら、合意を図っていく必要がございます。

そのほか、長島・天草・島原間の

三県架橋や西回り自動車道の阿久根・

空港道の整備を急ぐとともに、長島・阿久根間の高速道整備に取り組み、関係人口の増加を図れるよう、サンセットの丘整備も進めてまいります。このような新たな課題解決にも努めながら、子どもにはわくわくする

「夢」、働く人々には生き生きとした「活力」、子育て世帯や高齢者、弱者にはお一人おひとりを大切にする「福祉の充実」した町づくりにまい進してまいります。

結びに、この新年が皆さまにとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう、祈念申し上げます。新年のあいさついたします。